事例No.	3117
公表年度	R6
団体の属性	一般市
団体名	静岡県湖西市

事例区分	DX

タグ	・AI ・組織改革

事例種類	事業効率化

事例内容・タイトル

SNSへの投稿文章生成をはじめとした各種業務への生成AI活用

出典

自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ（第2回）④

本格導入 06

主な活用事例 文章生成・業務支援

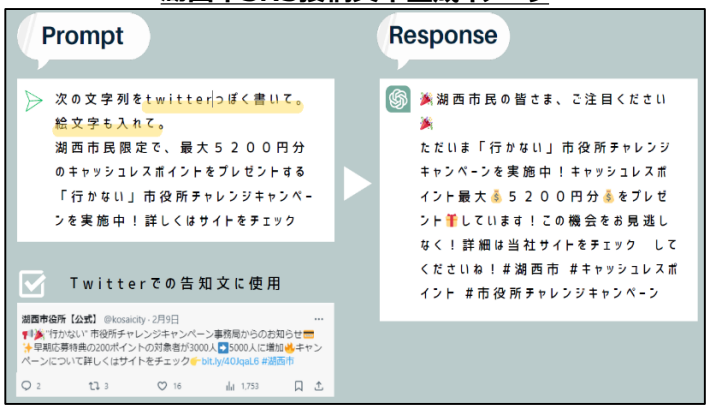
SNSへの投稿文章生成をはじめとした各種業務への生成AI活用（湖西市）

事例のポイント

- 用途・機能別に複数の生成AI製品を導入し、活用している。
- 「SNSへの投稿文章生成」や「新規イベント名提案」への生成AI活用をはじめ、「システム調達仕様書案作成」や「水道スマートメーターデータ取得状況確認作業の自動化」等多くの業務の作業経費及び時間を削減している。
- 困りごとや新しい取組に対するマインドを共有することで、職員の生成AI活用の機運醸成を図っている。

- **生成AIの概要**：用途・機能別に次の４製品を導入している。
  ①LoGoAIアシスタント（職員間チャットツールからのプロンプト入力、チャットツール経由の回答）
  ②ChatGPT有償版③プロキュアテック（システム要求仕様書作成ツール）
  ④サニタイザーAIゲートウェイ（LGWAN経由ChatGPT専用GW）
- **導入に至った経緯**：職員が生成AIに注目しボトムアップで導入を進めた。生成AIが世間で話題になっていたことに加え、上層部が出席する会議体でDX推進アドバイザーから生成AIの業務活用を説明していたこともあり、上層部の理解が得られて導入を円滑に進めることができた。
- **生成AIの活用内容**：SNSへの投稿文章生成を皮切りに、システム調達仕様書の文案生成の他、コード生成に活用している。コード生成はこれまでプログラミング経験のない職員が実施したもので、具体的には、水道スマートメーターデータ取得エラー時の再送信を自動化するコードを生成AIで出力することで、正確な送信状況を自動で確認する仕組みを確立した。
- **生成AI活用促進の取組：**
  ・DXを推進する部門にて各部署にヒアリングを行い、困りごとを気軽に共有できる雰囲気作りを行っている。
  ・失敗を恐れないよう上層部から職員へ伝えることで、職員が新しい取組にチャレンジする機運醸成を図っているほか、システム導入プロセスの定型化や全職員を対象としたITリテラシー向上により、特別な職員がいなくても生成AI活用やDXを推進できるような組織作りに努めている。
- **導入による業務改善効果**：
  ・2023年７月から2024年２月までの利用件数と削減効果による算出では800時間程度削減できた。
  ・水道スマートメーターの事例では、1年間で約66時間の削減効果があった。加えて、職員が手動で確認する必要がなくなったため、作業負担の軽減とデータ取得の正確性向上を実現した。
- **導入における課題**：事前にDX推進アドバイザー・上層部と想定される課題を練っていたため、導入に際して大きな課題には直面しなかった。
- **今後の生成AI利用の展望**：
  ・各種議事録作成や広報用画像生成等の内部での利用推進を行う。
  ・現状は、既に生成AIを利用している職員の利用を促進するような取組を行っている。今後は、生成AIの利用率が低い部署に活用してもらえる取組を行う予定。

湖西市SNS投稿文章生成イメージ



出所）「湖西市のChatGPT活用事例」（湖西市、2023年）

スケジュール

- 2023年　2月：SNSへの投稿文章生成開始
- 2023年　4月：新規イベント名の提案に活用
- 2023年　6月：LoGoAIアシスタント利用について庁内合意
- 2023年　7月：ガイドライン整備、LoGoAIアシスタント利用開始
- 2024年　1月：ChatGPT有償版(インターネット系)利用開始
- 2024年　5月：ChatGPT有償版(LGWAN系)※利用開始　※④サニタイザーAIゲートウェイ